



学校だより



# 昇陽 Sho-yo

校訓「昇る陽の如く」 第11号

発行日  
令和6年  
2月1日

学校教育目標 学ぶ喜びを知る生徒 誠実な生き方ができる生徒 たくまい気力・体力を身に付けた生徒



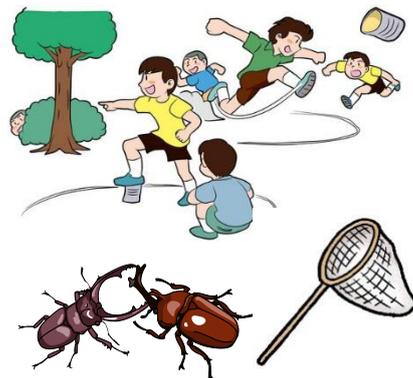
## その時代の社会状況を反映する学校の姿

校長 寺井 進一郎

1月26日(金)午後、来年度に入学する小学校第6学年の児童を対象に「新入生入学説明会」を開催しました。4月にお迎えする新入生は120名。今年度(令和5年度)は、2月1日現在、全校生徒は389名。135名の3年生を卒業生として送り出す予定ですので、来年度(令和6年度)は、374名となる見込みです。社会の少子化に伴い、本校学区でも学校の小規模化が進んでいます。



これを機会に、学校沿革誌(開校以来の学校の状況を記録する公簿)を紐解き、開校から43年の生徒数を調べ、その推移をグラフにしてみました(上グラフ参照)。ピークは昭和62年の756名。一時、800名に達しようとした勢いは、その後、徐々に右肩下がりとなり、全国的な少子化現象を反映した形が一目瞭然となっています。昭和末期~平成初期には、どこの学校も、いわゆる“学校の荒れ、を経験しました。生徒数の多さは、受験競争の過熱や得点主義的な社会傾向を生み出します。その時代の中高生にも少なからず影響を及ぼしていたものと考えられます。但し、人数が多い分、色々な体験ができました。昭和の時代には、町を歩けば、子供達が群れて遊ぶ姿が当たり前のように見られました。缶蹴りをする小学生、バットやグローブを持って広場で野球をする中学生。川や田んぼでドジョウやメダカ、カエル、ザリガニを捕まえたり、雑木林でカブトムシやクワガタムシ等の虫取りに興じたり…。平成、令和と時が流れるにつれ、その姿は見られなくなってきました。社会全体の少子化は“集団遊び、を、情報化は“外遊び、を、それぞれ減少させていきます。子供達は徐々に人や自然と触れ合う機会(直接体験)が狭められ、これに変わって携帯端末(スマートフォン、小型のPC、ゲーム等の情報機器)の普及により、バーチャルな世界を疑似体験する機会が増えつつあり、本物(リアル)に触れる直接体験は減る一方です。



教職に在る者として、昭和の時代から40年近く中学生と生活をともにしてきました。生活の利便性は格段に向上していると思います。社会全体を見ても学校は落ち着いてきました。でも、かつてあった、失いたくないものが無くなりつつあることに、一抹の寂しさを感じているのも事実です。

幸い、東中学区は、昔ながらの埼玉県北部・羽生の風土が最も残存している地域です。長く続いてきた地域コミュニティ、文化、そして、自然。さらには、温かい御家族・地域の方々のもとで養われ、育ってきた純朴な子供達がいることを、日々の幸せと感じ、本校の校長を務めております。子供達の人数は減っていますが、その分、生徒数が多かった時代よりも、きめ細かい教育活動ができるのではないかと、一人一人を見守ることができるのではないかと、考えております。地域そして保護者の皆様、本年度の残り2か月、そして今後の東中学校を、どうかよろしくごお願い申し上げます。

## スキー学校（1学年）

第3学期始業式の翌日、1月10日（水）～12日（金）にかけて2泊3日の「スキー学校」（長野県志賀高原）に行きまして参りました。ここまでの9か月間、学校の中での活動に終始していた1年生ですが、中学校生活で初めての「旅行・集団宿泊的行事」を経験しました。



学年教職員の指導の下、実行委員を中心に、「学級会」等で話し合い、自分たちで自分たちの学年の行事を計画・実行し、見事に3日間を充実したものにして、無事、帰校しました。戻って来た生徒の皆さんの笑顔が、それまで以上に、ほころんでいたように思います。成長を感じました。保護者の皆様には、事前の準備等、大変にお世話になりました。御協力に感謝を申し上げます。

## 校長面接（3学年）

受験・卒業を控えた3年生を対象に、10月から毎日、昼休み・放課後を利用して、何名かずつ、校長室で面接を行っています。毎年のことですが、生徒一人一人と話していると、どの子にも、その子ならではの魅力があって、中学生ならではの健康的な美しさに惚れ込んでしまいます。御家族や友達への思いなども聴かせてくれます。全員が、とにかく頼もしくて、可愛くて、愛おしくて、改めて、彼等とともに過ごすことの有り難さを感じています。恥ずかしながら、来月の卒業式を待たず、既に感傷に浸り始めている自分がおります。在校生1・2年生とともに、残された時間、その日その日を大切に、有意義に過ごして参りたいと思います。



## 埼玉県小中学校児童生徒美術展北埼玉地区展

1月20日（土）、21日（日）の2日間にわたり、行田総合体育館「行田グリーンアリーナ」を会場に第64回埼玉県小中学校児童生徒美術展北埼玉地区展が開催されました。北埼玉地区（行田、加須、羽生）では、小・中学校全65校の児童生徒の作品約3,800点を展示公開し、2日間で5,500人余りの来場者がありました。作品鑑賞に御来場くださった皆様、ありがとうございました。



### 2月の行事予定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	木	中学生議会（2学年代表生徒）学校保健委員会	16	金	
2	金		17	土	
3	土		18	日	<u>テスト前部活動停止</u>
4	日		19	月	
5	月		20	火	安全の日・交通安全立哨
6	火	全校朝会（校長講話）	21	水	県立高校入試学力検査（3年）第4回定期テスト（1・2年）
7	水	県立高校出願期間	22	木	県立高校入試実技面接※一部のみ（3年）第4回定期テスト（1・2年）交通安全補導
8	木		23	金	天皇誕生日
9	金	校外学習（2学年）	24	土	第2回資源回収
10	土		25	日	
11	日	建国記念の日	26	月	
12	月	振替休日	27	火	表彰朝会
13	火		28	水	卒業式全体練習
14	水	県立高校志願先変更期間 生徒会専門委員会	29	木	三年生を送る会
15	木				